

パートナーシップ制度に関する意見交換会（令和3年9月25日）
意見のまとめ

項目	意見内容
制度導入	この制度は当事者にとって一番必要なものなので、市内には団体の存在がないとはいえ、可能な限り当事者と一緒に制度を作ってほしい。
	他市や県とも連携・情報共有しながらよい制度にしてほしい。
宣誓要件	LGBT 限定にしてしまうと、制度利用=LGBT ということになり、使いにくい人もいる。事実婚も含む方が、誰もが使いやすい。
内容・手続き	「宣誓」ではなく「届出」手続きの自治体もあり、当事者間でも市長に対する「宣誓」とは？書類手続きで「届出」でよいのでは？という意見もある。
	通称名を使うトランスジェンダーは、大切な受領証カードにたとえ裏面であっても性自認と異なる戸籍氏名を書くことが本当に苦痛。この点は、真剣に議論してほしい。
ファミリーシップ	ファミリーシップを含むことに賛成。ぜひやってほしい（2～3名）。
	既に色々な家族の形がある。希望者の選択性ならば、ぜひファミリー制度も入れてほしい。
	事実婚は自治体ごと主張があるが、ファミリー制度は現状デメリットが特に考えられない。なぜ他の自治体はやらないのか。
サービス	県営住宅への入居や、民間不動産会社にもアプローチしてほしい。
	市立病院だけでなく、民間の医療機関にも趣旨を説明して、どの病院にいつでも同じ対応が受けられるようにしてほしい。
名称	既に一般的に浸透している「パートナーシップ」を含み、制度に「ファミリーシップ」要素もあることが分かるような名称が良いと思う。検索して分かることが大事。
受領証デザイン	2枚目のシンプルな方が個人的には好み。婚姻届とコンセプトを合わせているのも素敵。
	他市は受領証に市章が薄く印字されているものもある。デザイン性を損なうことなく入れられたらと思うが、無理になくてもいい。
環境づくり	子どもの頃からの教育・啓発が本当に大切。学校へのアプローチは何か考えているか？教育委員会ときちんと連携してほしい（2～3名）
	職員向けや議員向けの研修もやるべき。職員向けのマニュアル作成など。
その他	正直子ども達より、大人（近所の人や子どもの親、事業者など）からの偏見や差別が心配。
	浜松の当事者間でも、市の施策なら「パートナーシップ制度」よりも啓発など先にやることもある、という意見はあった。しかし制度という柱があることで、施策を横に広げていくことができるので、まず制度を作ろうという話になった。現状で偏見や差別があるからこそ、制度を作ることが大切。